

第46回京都大学宇治キャンパス産学交流会

< エネルギー理工学研究所 >

◆ 日時 2023年7月5日(水) 13:30~17:00

◆ 場所 宇治キャンパス総合研究実験 1号棟 HW401号室

第2部:懇親会 カフェレストランきはだ



京都大学宇治キャンパスにある4つの研究所(エネルギー理工学、生存圏、防災、化学)との産学連携や参加企業間の業種の垣根を越えた連携を目的に開催しています。今回はエネルギー理工学研究所との交流会です。

≪第1部:講演会≫

◇ 開会のご挨拶 13:30~13:40

◇ 研究シーズ (質疑応答含む) 13:40~15:30

「液体金属とその利用 -核融合・原子力分野での高伝熱性流体-」

京都大学 エネルギー理工学研究所 准教授 八木 重郎 氏

次世代のエネルギー源として期待されている核融合や先進原子炉においては、高温運転や高発熱密度を実現するために、各種の液体金属の利用が考えられています。講演ではこういった用途を含めた液体金属の各種特性やその取扱い、最新の研究などについてお話しします。



「ナノ物質のユニークなエネルギー変換: 熱から単一波長の光へ」

京都大学 エネルギー理工学研究所 助教 西原 大志 氏

太陽や溶鉱炉のように、高温の物体からは光(電磁波)が放出されます。この現象は「熱放射」と呼ばれ白熱灯や店頭でお馴染みになった非接触体温計などに利用されています。講演では、私達が発見した、微細構造を有するナノ物質のユニークな熱放射と、それを利用した次世代エネルギー変換技術についてお話しします。



◇ 関連企業紹介 (質疑応答含む) 15:40~16:20

「フュージョンエネルギー(核融合)による脱炭素社会の実現に向けた ディープテックスタートアップの挑戦 -京都発の最先端技術を世界へ-」

京都フュージョニアリング株式会社プラント技術部門 マネージャ 井野 孝 氏

京都フュージョニアリングは、2019年に京都大学のフュージョンエネルギー(核融合)技術を基盤に、民間企業として誕生しました。講演ではフュージョンエネルギーの特徴、弊社のビジネススコープに加え、京都大学・宇治市・京都府との連携の内容を含む、脱炭素社会の実現に向けた取り組みについてご紹介します。



◇ 施設見学 16:20~17:00

・核磁気共鳴装置(NMR) ・原子エネルギー研究分野実験室

≪第2部:懇親会≫ (参加費制・レストランきはだ) 17:20~19:00

- ◆主催 京都大学宇治キャンパス産学交流企業連絡会・京都府中小企業技術センター・(公財)京都産業 21
- ◆共催 京都大学エネルギー理工学研究所・京都やましろ企業オンリーワン倶楽部
- ◆協力 宇治市

参加申込書

第46回京都大学宇治キャンパス産学交流会(7月5日(水)開催)

【WEB 申し込み】 京都府中小企業技術センターホームページ TOP ページ
「第46回京都大学宇治キャンパス産学交流会」より

【E-mail/FAX での申し込み】

E-mail: keihanna@kptc.jp / FAX:0774-66-7546

【締め切り】 6月30日(金)(先着60名)

【参加費】第1部:無料/第2部:企業連絡会員1000円・会員外5000円(講演会受付時に徴収)

会社名				
所在地	〒			
氏名	所属	電話番号	E-mail	参加(○印)
				1部・2部
				1部・2部
				1部・2部

- 公共交通機関の利用にご協力ください。(お車利用の方は 南門(守衛室)での駐車手続きが必要です)
- 講演会場は 総合研究実験 1号棟 4階 HW401号室です

